

# 少連協ニュース

○発行／足立区少年団体連合協議会 〒120-8510 東京都足立区中央本町1-17-1 足立区役所青少年課 青少年育成係 TEL 03-3880-5275  
○発行人／四宮淳司 ○編集／調査広報部 大関 川田 鈴木(春) 辻村 岩井 熊澤 仁科 常田 梅津 小島

## 少連協 創立60周年

## あ明るくだ団結ち挑戦する 足立っ子



### 目次

- 会長挨拶……………1
- 通常総会開催……………2
- たくましく生き抜く力を育むために  
青少年課課長 西島 誠……………2
- 新任役員・新任常任理事……………3
- 東京都子ども会連合会の取り組み……………3
- 青少年健全育成団体親睦球技大会……………4
- 育成者セミナー……………4
- ジュニアリーダー研修会……………5
- ユースリーダー代表・門脇真音……………5
- キャンプ……………6
- キャンプアンケート……………7
- 地少協の活動・鹿浜地少協／第11地少協……………8
- 編集後記……………8



5月の総会において、3期目のご承認をいただきました。この2年間多くの地域にお伺いし、各地少協・子ども会の活動が徐々に広がっていることが活発になっていくことを実感しました。地域の子どもの体験活動の場が増えていることに感謝申し上げます。

今年度、少連協は60周年



令和7年度を  
迎えてのご挨拶

足立区少年団体連合協議会  
会長 四宮 淳司

を迎えることができました。ジュニアリーダー研修会も年々参加者が増え、宿泊キャンプは年間で300名を超えるまでになりました。50周年で新たに立ち上げたジュニアリーダークラブも秋には90名ほどの組織になり、大学生・社会人で組織するユースリーダークラブも立ち上げることができました。

このような成果を上げることができましたのも、役員、常任理事、地域の皆様のご協力のおかげであり、これからは、この「若年層の担い手」を各地域に派遣しますので皆様で育てていただきますと考えています。

最後になりますが、皆様と心を一つに、「子どもたちの安全」「子どもたちの笑顔」のために頑張っていきたいと思います。

2

## 新任役員 ごあいさつ

会計 佐久間 陽子  
初任で知識もなく右も左もわかりませんが四宮会長をはじめ、諸先輩方に教えていただき少しずつではありますが、力を尽くしてまいりたいと思いますので宜しくお願いいたします。

## 新常任理事 ごあいさつ

第10地少協 片野 和恵  
来賓としてお招きいただいた昨年度の新年会で、自分が暮らす地域には子ども会がないことを知り、地域の子どもたちのために子ども会を作りたい！という思いを強くいたしました。そしてその思いを、志を同じくする地域の方や少連協の皆様が受け止めてくださり、17年ぶりに独立型の子ども会が誕生、第10地少協が復活いたしました。

今年度は、イースター、ランチ付きサマースクール、ハロウィン、クリスマスイベントと、様々な学びと体験のイベントを地域の団体と連携して開催いたします。至らぬ点があるかと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 第14地少協 会長 小島 弥生

地域の皆さまとの「輪」を大切に、10名の役員とともに14地区の子どもたちと元気いっぱい!!子どもも大人もみーんなの笑顔があふれる活動をしてまいりたいと思います。

皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

# 東京都子ども会連合会の取り組み

理事長 四宮 淳司

## 都子連の事業

- 1 事業部 指導者クラブ 菅原 紀和  
○ジュニア・リーダー交流キャンプ  
(9/13～15 松原山荘)  
○東京都子ども会育成研究協議会  
(12/6 豊洲シビック)
- 2 安全共済会 安全会会計 一樹 勇太郎  
○東京都約50,000名・  
足立区約3,000名の保険業務  
○子ども会安全啓発指導者養成講習会  
(初級 7/21 江戸川  
中級 8/30・31 都子連)
- 3 広報部 副会長 大関 英広  
○都子連新聞発行 ホームページ更新
- 4 その他  
○全子連・東京都・他関係機関との取り組み  
○野外施設管理運営

## 理事長の仕事

- 週1回  
・都子連事務所(大塚)に出勤  
・事務局と郵便物や書類チェック  
・会計処理、他打合せ
- 月1回  
・正副理事長会  
・月次会計報告  
・事業計画、状況確認、報告、他打合せ

## 安全共済会の加入のメリット

### ●安価な掛金と手厚い補償

既存の民間保険会社との団体契約に比べて、安価な掛け金で手厚くきめ細やかな補償が可能となり、安定した事業の継続が確保できます。

### ●安全普及活動

各子ども会の実情に即した安全普及活動を行なうことができます。

みなさんの活動をサポート!!  
**全国子ども会安全共済会に入ろうよ!**  
地域での子ども会活動・青少年の団体活動に最適な共済制度です

小さな掛け金 大きな安心!



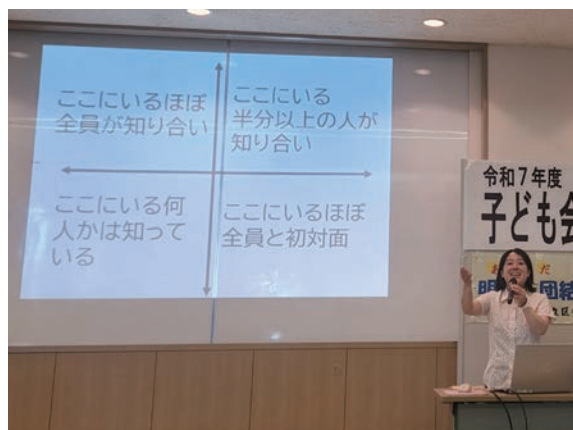
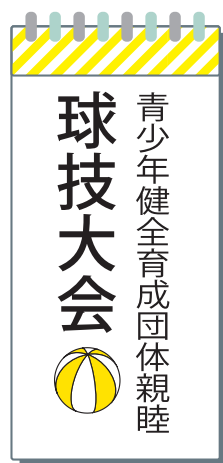
(詳細はHPをご参照ください)



▲参加した選手たち

令和7年6月8日（日）、第28回青少年健全育成団体親睦ビーチボール大会が東綾瀬中学校体育館にて行われました。本大会は青少年の健全な育成と、関係団体相互の親睦・交流を深めることを目的に開催されています。

青少年健全育成に関わる9団体が参加し、和気藹々と楽しい試合が行われ、有意義な時間を過ごすことができました。



▲千葉自然学校 南房総市大房岬自然の家 副所長 花嶋先生

事業研修部部長 井門 明洋

令和7年6月22日（日）10時から西新井ギヤラクシティ三階多目的室にて開催されました。

主催者の四宮会長から本日の講演研修内容の「これからの子ども会活動で、指導者として、育成者として重要なことは何か？」の講演者であるNPO法人 千葉自然学校 南房総市大房岬自然の家 副所長 花嶋桃子先生の紹介で始まりました。

今回の受講者は70名で、講演会という

## 育成者セミナー

「これからの子ども会活動で指導者として育成者として重要なことは何か？」

よりも花嶋先生による大房岬自然の家の説明とグループ分けによるゲームとディスカッションを行いました。

会場内を歩きながら、声をかけた相手と互いに自己紹介をした後、ジャンケンに勝つと、負けた相手から紙に氏名を記入してもらおうというゲームを行いました。

次々と相手を見つけてジャンケンをしたと、サイン枠が埋まらず終わりません。ジャンケンをしているうちに、必然的にコミュニケーションが取れるゲームでした。

このようなゲームを通して、指導者として大事なのは、やはり、人と人との繋がりが『コミュニケーション』をスムーズに取ることではないかと感じました。

今年度もアンケートを実施しましたので、受講者の感想と今後のセミナーで行ってほしいテーマをご紹介します。

◎ コミュニケーションの取り方にゲーム感覚を取り入れることの楽しさを感じ出せました。また交流の場を持ちつながらこの大切さを考えさせていたできました。

◎ 色々な子ども会の実情を知り大変になった。とても面白いセミナーでした。



▲参加者によるゲーム

◎ 町会員が高齢化し、子どものいる親も含めどのようにして参加してもらえるか良い事例があれば知りたい。

◎ 同じ区内でも地域によっては違う活動をしていることがチーム分けのオリエンテーションで良くわかりました。お互いに今後の活動に生きることになるきっかけになりました。

- ※今後のセミナーのテーマについては
- ・子ども会の運営について
  - ・子どもの心理
  - ・障がい者参加の注意について
  - ・町会活動の参加
  - ・子どもを集めるコツ

以上いろいろな意見をいただき、皆さんが興味のあること、また来年度のセミナーのテーマについても大変参考になりました。

# ジュニアリーダー研修会

## 初めてのジュニアリーダー研修会

第10地少協会長 片野 和恵

令和7年度のジュニアリーダー研修会は、17年ぶりに復活した第10地少協の初めての事業でした。ありがたいことに右も左もわからない私たちを第9地少協の皆さんが受け入れてくださり、合同で開催することになりました。初めての私たちにできることは、昨年以上の子どもたちに研修会やキャンプに参加してもらう



▲17年ぶりに復活した研修会

ことごと、新学期が始まるとすぐにチラシを印刷し、地域の小学校に配布を依頼する他、連携して子ども会を運営しているNPO法人のイベントなどで面識のある小学生や保護者に声をかけました。昨年度の参加者は11名でしたが、今年度は30名となり、第9地少協の皆さんの継続の力と周知が数字に現れたのだと思います。

研修会には、長年ジュニアリーダー研修に携わっている2名の役員を中心に計5名の役員が参加し、第9地少協の皆さんの指示のもと準備や受付、アクティビティなど運営に携わらせていただき、来年に向けて貴重な学びとなりました。

「研修会時に、会場が遠いのに親が送迎できない子やキャンプ時に、リュックや寝袋が用意できず参加できない子がいるのではないかと？」という役員の声で、来年は、より多くの子どもたちが参加できるように第10地少協として環七以北、具体的には中島根小学校で開催し、使わなくなった大型リュックや子ども用寝袋の寄付を募り無料で貸し出す予定です。今年度学んだことを生かし、単独開催にチャレンジしたいと思っています。

## ユースリーダー代表

門脇 真音

私は、小学4年生の時に、ジュニアリーダー研修会に参加したことをきっかけに、ジュニアリーダー活動を始めました。当時の会場は、私が通う小学校とは違う場所だったので、仲の良い友人と一緒に待ち合わせをして向かったのですが、二人で道に迷ってしまい、結局、友人の母が探しに来てくれて、30分遅れで会場まで送ってもらいました。

今になると、友人の母はもちろん、講師の方や会場の大人など、たくさんの方に迷惑をかけたと思いますが、当時の私にとって、自分が通う小学校とは違う場



▲ユースリーダー代表の門脇さん



▲キャンプに参加のリーダーたち

所へ行って、初対面の人と関わることは、一種の冒険でした。

私が高校1年生になった年に、ジュニアリーダークラブが発足しました。

それまで参加者として参加していたキャンプに、リーダーとしてプログラムの企画や実行に携われると思うと、ワクワクしました。加えて、参加者だったときに大好きだったリーダーたちと同じ「仲間」として関わるができるのだというところが、本当に嬉しかったです。

そして今年、ユースリーダークラブが発足し、初代代表に任命されました。

ジュニアリーダーの仲間たちの期待を背負って、これからもジュニアリーダー活動を続けていきたいと思います。



▲参加者全員集合

## ジュニアリーダー研修会 キャンプ in 御殿場

# CAMP

in Gotenba

キャンプ長 熊谷 厚

8月11日～13日の日程で御殿場にある国立中央青少年交流の家へ、ジュニアリーダー研修キャンプへ行ってきました。参加者はジュニアリーダー研修会を修了した、小6～中3のキャンパー106人、中、高校生ジュニアリーダー34人、ユースリーダー11人、指導者クラブ4人、看護師2人、青少年課3人、少連協18人の総勢178人です。

初日から悪天候のためテントサイトも水溜りがありテント泊を断念しました。施設に対応していただいて急遽、研修室に宿泊することになりました。

2日目も朝から雨でしたが敷地外へのウォークラリーは実施しました。班ごとにコマ図を見て3.5kmを全員完歩することができました。歩いた後のかき氷はとても美味しかったです。キャンプファイヤーも雨で中止し、野外活動棟のレクへ変更となりました。



▲カートンドック作り



▲希望の太陽入りコースター



▶美味しいカレーができました



▲キャンプファイヤーのイメージで輪になって

かまどを使つての調理は1日目はカレーライス、2日目は炊き込みご飯と豚汁、どちらもとても美味しくいただきました。

3日目は雨も上がり、全員で記念写真を撮影できました(残念ながら富士山は見えませんでした)。

出発時に、参加者には今回のキャンプでは楽しく協力して支え合い、思いやりの気持ちを持って行動して欲しいと話をしました。

▶プログラムディレクター  
小林宇花(うか)

しました。天気には恵まれませんでしたが、楽しく有意義な時間を共有できたと思います。

プログラムを考えて、事前に準備をしてくれたリーダー達も頑張ってくれました。変更により大変でしたが、素晴らしい対応力を発揮してくれました。関わっていただいた全ての皆さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。



▲キャンプ長を中心に ～サポートの大人たち～

## 参加した子どもたちに聞きました！



### 一番楽しかったことは？

**1位** ♥ 野外炊事（みんなでの火起こし、料理、食べたこと）（目が痛かったけど、かまど楽しかった）

♥ カレー作り ♥ カートンドック作り ♥ 豚汁作り

**2位** ♥ ゲーム大会 全体 ♥ ゲーム大会 お化粧 ♥ ゲーム大会 ゴーバナナ ♥ ゲーム大会 UFO

**3位** ♥ ウォークラリー

**4位** ♥ みんなと一緒に風呂に入ったこと

**5位** ♥ 寝る前に寝袋に入ってみんなで話をしたこと



♥ かき氷を食べたこと ♥ すいみん ♥ 班の人と仲良くできたこと ♥ 皆でたくさん遊んだこと

♥ バスの中 ♥ キャンプファイヤーのゲーム ♥ クラフト ♥ 新聞紙タワー ♥ かまど講習



### キャンプを経験して、できるようになったことは？

**1位** ★ 火起こし（火の調節、薪の詳しい置き方）

**2位** ★ チームワークをいかして行動する ★ 仲間と一緒に何かする ★ 周りのことをよく見る

★ みんなと協力して色々なことを成し遂げる ★ 仲間への思いやり

★ みんなと協力する ★ 班と協力したり、思いやりを持ったり、助け合うこと



**3位** ★ 時間を守って行動 ★ 行動が早くなった ★ 次にやることを考えて準備する ★ 先を考えて行動する

**4位** ★ 新しく料理を覚えて作れるようになった ★ カレーが作れるようになった ★ じゃがいもの芽が取れるようになった ★ ピーラーで野菜の皮が上手くむけるようになった ★ 野菜が切れるようになった

**5位** ★ みんなと協力して、ご飯を作ること

★ 積極的に行動、発言できるようになった ★ 自主的に動くこと ★ 自分から挨拶すること

★ 初めて会った人との友達作り ★ 大人数の中で友達を増やせた ★ 人見知りが少し減った

★ 自分から話しかけられるようになった ★ 友達を自分から作れるようになった ★ 仲間と仲良くなれた

★ 自分の意見を伝えられるようになった

★ ウォークラリーでの地図を読んで、みんなを引っ張れた ★ 地図を読み取ること

★ 雨の日でも楽しめることを学んだ ★ 雨に耐性がついた

★ 自分がリーダーのときの導き方、声かけをすること ★ 全体と班の両方を見る力

★ 朝起きる習慣 ★ 機械に頼らない生活 ★ 体力がついた ★ 梅干しを食べられるようになった

★ 一人でお風呂に入る ★ 荷物の整理 ★ 寝袋のしまい方 ★ こげた鍋を洗うこと





▲ドッジボール大会

私たち、鹿浜地区少年団体協議会は島、古内、東、押部、椿の5つの子ども会で成り立っております。

主な年間行事としては夏のドッジボール大会、秋の球技大会、春の卒業球技大会で、会場は地元の小学校体育館、グラウンドまたは少年野球場で行っており、各大会の参加人数は120名位となっております。やはり、昔に比べ子ども会の会員数が減っておりますが、このような大会が継続できるのも、地域の多くの方々に支えて頂き、日頃より各子ども会、町会、自治会の運動会、御祭り、または学校行事で連携し活動しているからだと思います。今後の課題としては、やはり会員数を増やすことであり、ポッチャ大会、宮城ゆうゆう公園でのデイキャンプ（鹿浜ジュニアリーダーに協

力要請）を開催するよう考えております。

また、各子ども会会員の保護者に対しては、子ども会育成者セミナーを開催し、講師の方より子ども会の必要性も会の必要性等をレクチャーして頂き理解を求めています。私自身、身の考えとしては、地域ぐるみで子どもたちを育てる環境＝育成会と思っており、さらにそれを支える大人も子どもと一緒に成長していけると思っておりますので今後も継続していきたいです。加えて、鹿浜には心強い第8地少協が近くにあり、連携を取りながら活動していきます。今期は少連協が60周年を迎えますが、私たち鹿浜地少協としても四宮会長を支え地元、足立区をさらに盛り上げていきたいと思っております。

## 球技大会を主に活動！

鹿浜地少協

会長 津谷 孝一



▲選手宣誓

## Activity 地少協の活動

足立区少連協主催のドッジビー大会小学生の部で初優勝し参加した子どもたちを始め、引率の保護者、練習会開催（毎週水曜日）を援助していただいている地域の方々も大変喜んでおりました。

また、中城デイスコッドツトーナメント2024年度小学生関東王座決定戦（駒沢オリンピック公園）へもタイミンが良く参加出来ました。

競技ですので、勝敗も重要ですがスポーツを通じて『あいさつ』『仲間や相手を思いやる気持ち』など競技以外のことも学べ、全ての

に感謝する心構えができたのではと感じました。結果は惨敗でしたが子どもたちにとっては悔しい思いもあった事でしょうが思い出を作ることが出来たと思います。

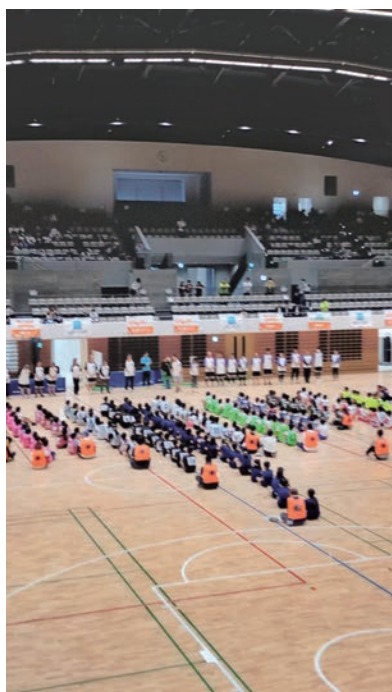


▲ドッジビー大会の開会式

## ドッジビー大会 優勝おめでとう

第11地少協

会長 成島 勝之



▲駒沢オリンピック体育館で開催



## 編集後記

今年度、少連協は60周年を迎え、各事業が周年記念事業として活発に行われています。新たに発足したユースリーダークラブも、個々の力を結束して、頼もしい姿です。これからの活躍が楽しみです。後に続くジュニアリーダーたちも、御殿場のキャンプでは、小学生の良きリーダーとして頑張っていました。これからも、このように頑張っている子どもたちの活動を伝えられるような紙面づくりをしていきます。74号を発行するにあたり、ご協力をいただいた皆様ありがとうございました。

